

活動報告

汚水処理生物研究会定期勉強会(第5回)

開催報告

平成 28 年 11 月 12 日(土) 14 時より、(公社)宮城県生活環境事業協会の会議室と検鏡室において、定期勉強会としては一区切りとなる 5 回目の勉強会が開催されました。当日は 20 名の方に参加いただき、遠くは愛知県や山形県からも受講いただきました。

はじめに、第 5 回のテーマである「アメーバおよび鞭毛虫」の講義が行われました。須藤理事長から肉質虫類の *Amoeba* 属は、一般的にはアメーバとして馴染みのある原生動物で、種ごとの特徴や出現環境、同定のポイント等について教えていただきました。また、鞭毛虫については、10 μ m 以下の小型のものについては、鞭毛の本数や動きによって同定する等、須藤理事長直筆の図解を交えて、説明していただきました。

続いて、検鏡室に場所を移動し、顕微鏡 5 台を使い受講生がそれぞれ肉質虫類の *Amoeba* 属(アメーバ)や *Monas* 属(モナス)などを検鏡しました。また、液晶モニターを用いて画面上に映し出された原生動物を受講生の皆さんが食い入るように見ながら、須藤理事長から *Amoeba* 属(アメーバ)の特徴や鞭毛虫類の動き方の違いによる同定のポイント等を丁寧に教えていただきました。

さらに、水処理技術者の受講生から事前に送られてきた、食品排水処理施設のサンプルも検鏡し、須藤理事長と受講生とで討論しました。その後、会場を会議室に移し、E-TEC と(公社)宮城県生活環境事業協会が共同研究を行い、10 月 17 日に全国浄化槽技術研究集会以て発表した「浄化槽の微生物に関する調査研究結果」を紹介しました。

最後に、今回で定期勉強会は一区切りとなることから、須藤理事長から受講生の一人一人に修了証書の授与が行われました。これをもって全 5 回実施された「汚水処理生物研究会の定期勉強会」は受講生に惜しまれながらも一旦終了となりました。

これからの予定として、E-TEC 事務所内に汚水処理生物研究会の事務局を設置し弊所ホームページへも掲載予定であること、今回集まっていた受講生を中心に今後も情報交換等を行っていきたいこと、来年の 7 月頃に勉強会を開催する予定であること、のアナウンスがありました。

おわりに、受講生の皆様には受講後にアンケート調査にご協力をいただき感謝しております。事務局としては、この結果を参考にしながら、今後さらに魅力的な汚水処理生物研究会となるよう、努力して参りたいと考えております。

